

令和6年度 北灘 広域共同調査（1月6日調査）徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	DO (mg/L)	細胞/L		細胞/mL				
							コシノディスカス ワイレシー	コシノディスカス spp.	ユーカンビア ゾディアクス	アレキサンドリウム sp.	ディノフィシス カウダータ	ディノフィシス アキュミナータ	ノクチルカ シンチランス
2	09:41	0-5			9.5		-	-	-	0.01	-	-	
		0	10.74	31.10		8.6							
		1	11.03	31.68		8.5				0.01	0.01		
		5	11.58	31.96		8.6							
		10	11.62	31.96		8.7		10					
		15	11.68	31.97		8.7							
		20	11.78	32.01		8.5							
		B-1	11.78	32.02		8.5		10					
2'	9:45	0											250.0
4	09:14	0-5			14.3		20	-	0.21	-	0.01	-	
		0	11.67	32.01		8.6				0.57			
		1	11.71	32.00		8.7				0.22			0.01
		5	11.81	32.09		8.7		10			0.01		
		10	11.85	32.10		8.7		10	30	0.07	0.01	0.01	
		15	12.07	32.17		8.5							
		20	12.25	32.26		8.4		10	-	0.74	0.04	0.01	
		25	12.30	32.27		8.3							
		30	12.29	32.27		8.3			10				
		35	12.29	32.28		8.3							
		40	12.30	32.28		8.3							
		B-1	12.30	32.28		8.3		10	10	0.51			
5	10:14	0-5			9.4		-	-	-	-	-	-	
		0	11.78	24.33		9.0							
		1	11.94	24.22		9.0				0.03	0.02		
		5	11.96	23.81		9.0				0.02			
		10	11.97	32.14		8.5					0.02		
		15	12.00	32.17		8.5							
		20	12.14	32.22		8.4							
		25	12.25	32.25		8.4							
		30	12.45	32.34		8.3							
		B-1	12.45	32.34		8.3		10	-				



備考

- ・藻類を色落ちさせる珪藻について、コシノディスカス属及びユーカンビア属は前回調査時と同程度でした。
- ・麻痺性貝毒原因種を含むアレキサンドリウム属が検出されましたが、低密度でした。
- ・下痢性貝毒原因種であるディノフィシス属が検出されましたが、低密度でした。
- ・St.2'でノクチルカシンチランス（通称ヤコウチュウ）の集積による海面の着色が見られました。本種は基本的に無害とされていますが、高密度化している海域を航行した場合には、活け間の蓄養魚が弱る可能性があります。航行の際は、海面の着色域に注意してください。
- ・珪藻はリゾソレニア属主体で低密度でした。
珪藻細胞数 St.4(0-5m):20cells/ml